

令和6年6月21日
群馬県総合教育センター
(Tel0270-26-9217)

「つなぐん・つなサポ」開設の状況について

1 「心と学びのサポートセンター つなぐん」について

- ・関係機関にまたがっていた学校に係る相談・支援業務を一元化した。
- ・児童生徒・保護者・教職員からの相談が5月末で500件を超える。
※内訳は①保護者7割弱、②児童生徒1割強、③教職員1割、その他1割
※内容は①発育・子育て、②人間関係・自分、③指導上の諸課題が中心
- ・電話・来所・訪問・メール・SNSのあらゆる方法での相談ができる。
- ・昨年と比較し、相談から支援につながるケースが増えている。
- ・若手教職員の離職防止に向けてのセーフティーネットとなっている。

2 オンライン不登校サポート「つなサポ」について

(1) 「つなサポ」の概要

- ・3Dメタバース空間での不登校支援センター（契約先 ガイアリンク）
- ・愛媛県に続いて、都道府県としての取組は全国で2番目である。
- ・原則として対象は、30日以上学校に通えていない児童生徒であり、学校や教育支援センター、フリースクール等からの支援を受けていない児童生徒。
- ・読売新聞・上毛新聞・FM群馬・群馬テレビ・NHK前橋で報道あり。

(2) 「つなサポ」開設の状況

- ・6月3日（月）に開設（4月は周知・広報 5月に担当職員が群馬センター製作）
- ・5月末での児童生徒に係る個別の問い合わせ状況 50件以上（順次対応）
- ・申し込み後、各学校に出向き、校長、保護者等とケース会議で支援方針を確認
- ・現在、10名の児童生徒が入級済
※小学生5名 中学生5名が在籍（小学4年～中学3年）
※県内各地から（長野原・みなかみ・前橋・高崎・伊勢崎・渋川等の県全域）
- ・平日の10時～15時まで開設している。常時2名～最大8名で対応。

3 課題

- ◇市町村教育委員会や教育支援センター、フリースクールとのネットワークづくり
- ◇反響が予想以上に大きく、事業規模（同時接続20名）を拡大する必要がある